

国際花と緑の博覧会記念協会による

「花の万博20周年記念事業」2010年4月よりスタートします。

花の万博20周年記念
MEMORIAL
20th
with the Earth

20周年を期に「自然と人間との共生」を次世代へ

「国際花と緑の博覧会(花の万博)」から20年。昨今、地球温暖化防止や生物多様性の保全に代表される地球環境問題が喫緊の課題となっています。そこで花の万博の「自然と人間との共生」という理念を次世代へ継承したいという願いを込め、国際花と緑の博覧会記念協会では、市民参加型イベント「花の万博20周年記念事業」を開催します。これら行催事は、各団体・企業・市民の皆様と連携しながら、花博記念公園鶴見緑地ほかで多彩に実施します。

花の万博のマスコット「花ずきんちゃん」復活



当時、大人気の花の万博のマスコット「花ずきんちゃん」が復活。次世代を担う子供達へ「自然と人間との共生」のメッセージを届けるべく、「花ずきんちゃん」が、花の万博20周年記念事業をアピールします。

主要イベント

主催行事・催事

- ①「花・緑フェスタ」
「フラワーカーペット」 4月29日(木祝)～5月2日(日)
「水の館ホール展示」4月29日(木祝)～5月5日(水祝)
- ②「花の万博20周年メモリアル展示と写真展」
4月29日(木祝)～5月5日(水祝)
- ③「花・緑フォーラム」 5月16日(日)
- ④「理念継承フォーラム」 時期未定
- ⑤「花の万博の日本画展」 4月14日(水)～4月26日(月)
- ⑥スタンプラリー 5月22日(土)・23日(日)
- ⑦「花の万博20周年記念式典」 4月30日(金)

お問合せ (財)国際花と緑の博覧会記念協会 事業課
Tel 06-6915-4513

33万本のチューリップでつくる「フラワーカーペット」など市民参加型イベントを実施

ゴールデンウィークには、鶴見緑地を会場とした花と緑の多彩なイベント「花・緑フェスタ」を開催。球根育成用に廃棄されるチューリップ33万本分の花びらを利用し、市民参加により地面に花絵を描く「フラワーカーペット」を実施します。総面積約650㎡の花絵には、デザイン画や現地での造作など多くの市民ボランティアを募る予定で、自然素材のリユースとみずみずしい花を扱うことから花の万博の理念を考える契機にしたいと考えています。また、「水の館ホール展示」では、花と緑に関係する各団体等による技術、産業、くらしと生活に関する展示。都市緑化技術やフラワーアレンジメント等の各種出展、物販を通じて、生活と未来について考えます。



メモリアル展示やスタンプラリー&花の万博を知らない世代にメッセージを届ける

「花の万博」体験世代には、懐かしい会場風景や花の写真、動画映像やコンパニオンのユニフォームなどの「メモリアル展示」と花の万博当時「花博写真美術館」に出品された作品の展示、鶴見緑地内「スタンプラリー」などをお楽しみいただけます。また、特に若い世代へ環境メッセージを伝えることを目的に、FM802と共催によるロックコンサートを行います。

咲くやこの花館 花の万博20周年記念・特別展

「昔・今・未来 花のある生活」 4月1日(木)～5月9日(日)

1990年、鶴見緑地で開催された花の万博から20年、咲くやこの花館も「成人式」を迎えました。特別展では、園芸の未来を見つけるために「万葉～江戸時代、そして明治、大正、昭和、平成」へと時代毎の園芸とその背景にある文化がタイムトンネルの先に！期間中は、浮世絵(複製)による江戸時代の園芸紹介、昔の園芸カタログ、ミニイングリッシュガーデンや車いすでも園芸の楽しめるレイズドベッドなども紹介。展示にちなんだ、咲くやこの花館など見どころいっぱいです。



写真で振り返る、花と緑と生命(いのち)が輝く博覧会

「国際花と緑の博覧会」開催20周年記念企画

鶴見緑地を舞台に開催された「国際花と緑の博覧会(花の万博)」が、今年で20周年を迎えます。花の万博は「自然と人間との共生」をテーマに平成2年4月1日～9月30日の183日間にわたって開催された東洋初の大国際園芸博覧会。世界83カ国、55国際機関が参加し、総入場者数は約2300万人を記録。人気のパビリオンには約6時間待ちの行列ができたほど…。そんな記録尽くしの花の万博を当時の写真でご紹介。4月には花の万博開催20周年記念事業を開催します。「わあ、懐かしい」と言う方から「初めて知った」と言う人まで、爽やかな春風に誘われて、ぜひみなで遊びに来てくださーい。

